

おおの 社協だより

第200号
企画・編集・発行
社会福祉法人
大野市社会福祉協議会
大野市ボランティアセンター
大野市共同募金委員会
大野市天神町1-19
☎65-8773
☎66-1111(4104)
印刷・(株)松浦印刷所



ふれあいサロンで
みんないきいき!



～美里サロン開催～

大野市社会福祉協議会では、高齢者の生きがいづくりと社会的孤立感の解消、自立生活の助長、そして介護予防を目的にふれあいサロンを開催しています。

今年も、大野市内で3か所のサロンを開設しており、地域の高齢者が集会場等を利用していきいきと活動を行っています。

その中で、12月6日に、美里サロン(橋本治隆代表)で、民謡ライブが行われました。

佑雅秀喜代会が三味線を弾きながら民謡を披露し、参加者からは、三味線の綺麗な音色を聞きながら、自然と手拍子が。

その後、参加者全員で、銭太鼓の体験をし、参加者らは楽しく充実した一日を過ごしました。

大野市社会福祉協議会では、平成29年度開始の新規サロンを1か所募集しています。

興味のある地区は、大野市社会福祉協議会までご連絡ください。



より一層の 地域福祉の推進に向けて



社会福祉法人
大野市社会福祉協議会

会長 **金 森 閱 治**

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆さまには、ご健勝で新年を
お迎えのことと、心より喜び
申し上げます。

旧年中は、大野市社会福祉協
議会の運営並びに事業活動に対
しまして、多大のご支援、ご協
力を賜り、衷心より厚く申し上
げます。

さて、昨年は、台風10号によ
る岩手県と北海道を中心とした
記録的大雨や、熊本県・鳥取県
での相次ぐ地震など、自然災害
が多発する一方、G7伊勢志摩
サミットの開催やリオデジャネ
イロオリンピックでの日本人選
手の活躍など明るい話題も多い
年でありました。

そうした中、福祉面におきま
しては、少子高齢化社会に対応
した地域福祉の取り組みとして、
地域での見守りや支え合いと

いった「共助」の活動が、大野
市においてもより進められたと
ころと認識しております。

大野市社会福祉協議会では、

このような活動を支援するため、
第四次地域福祉活動計画に掲げ
る「結の心でつながる福祉のま
ち」づくりに精力的に取り組ん
でおりますが、その原動力は、
地域の皆さまの「やさしさ」と「思
いやり」に支えられた「地域力」
にあり、これからも「みんなが
住み慣れた地域で生き活きと暮
らしていくことができる地域社
会」を目指し、全力で事業を展
開してまいります。

加えますに、本年は、4月か
ら社会福祉法が改正施行され、
社会福祉法人制度改革が行われ
ますが、市民の皆さまにより透
明性で公益性のある社協づくり
ができるよう、役員一同、一
丸となって取り組んでまいりま
すので、ご支援、ご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

多くの善意に 心から感謝申し上げます



大野市共同募金委員会

会長 **安 間 勝 也**

あけましておめでとうござい
ます。

大野市共同募金委員会より謹
んで新年のごあいさつを申し上
げます。

市民の皆さまには、日頃から
赤い羽根共同募金と歳末たすけ

あい募金運動に温かいご理解と
ご協力をいただき、厚くお礼申
し上げます。

共同募金は自分のまちを良く
する仕組みという趣旨にご賛同
いただいた大野市区長連合会、
大野市民生委員・児童委員協議
会をはじめ関係諸団体、ボラン
ティア団体並びに事業所の皆さ
まに地域、職域、街頭で募金活
動に取り組んでいただいた結果、

大変多くの善意の募金をいただ
くことができました。ここに重
ねてお礼申し上げます。

大野市で集まりました皆さま
の尊い浄財は、誰もが幸せに暮
らすことができる福祉のまちづ
くりのため、大野市社会福祉協
議会をはじめ、地域の皆さまが
取り組まれていた地域福祉活動
や各種団体による福祉事業に配
分され、活用されることになっ
ております。

大野市共同募金委員会では、
この募金が、皆さまのやさしさ
と思いやりを届ける運動として、
より一層地域に根付いて行ける
よう取り組んでまいりますので、
本年もご理解とご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金の 実績中間報告

皆さまにご協力いただいています
赤い羽根共同募金の実績中間報告です。
ご協力ありがとうございます。

(平成28年12月16日現在)

	一般募金	歳末募金
戸 別	4,152,000円	456,100円
街 頭	225,531円	14,559円
企 業	1,095,000円	—
職 域	300,123円	—
学 校	50,640円	—
イベント	343,978円	—
個人団体	27,800円	28,000円
そ の 他	74,983円	—
合 計	6,270,055円	498,659円
※目標額	6,740,000円	1,180,000円



大野市社会福祉大会開催

社会福祉貢献
21人・2団体を表彰

9月24日(土)、多田記念大野有終会館多目的ホールで、平成28年度大野市社会福祉大会が行われ、市民約800人が参加。

最初に式典が行われ、国歌斉唱、物故者への黙祷の後、奥越明成高校ボランティア部部長の福島朝楓さんの先導のもと、来場者全員で大野市民憲章と大野市教育理念を唱和しました。

続いて、金森閑治大野市社会福祉協議会会長及び岡田高大大野市長があいさつを行いました。



福島朝楓さんの市民憲章唱和

その後、長年地域の福祉向上にご尽力されたボランティア功労者(2人・1団体)・地域福



受賞の様子

祉推進功労者(13人)・社会福祉事業功労表彰(1人)の各表彰と、金品寄付の感謝状贈呈(5人・1団体)が行われ、大野市議会と福井県社会福祉協議会から祝辞をいただきました。

また、式典の後には、地域福祉活動実践発表が行われ、「ご近所助点づくり推進モデル事業」ご近所づくりは人づくりから」と題し、安川勲春日野区長が春日野区で展開されている地域福祉活動について発表しました。

休憩後、「大野市の福祉のまちづくりや障害者福祉について

一緒に考えます」と題して、東国原英夫氏の記念講演が行われ、宮崎県知事時代の笑顔のあふれる街づくりを目指したエピソードをユーモアを交えて紹介し、会場は笑いが絶えませんでした。

表彰等の受賞者、団体は次のとおりです。
大野市社会福祉協議会
会長表彰 (順不同・敬称略)

【ボランティア功労者】
辻 登代子



要約筆記者も活躍。



東国原氏による記念講演

土肥 純子
話し相手ボランティア よつば
【地域福祉推進功労者】
石本 厚子
起橋 信之
歸山 夏實
印牧 みさ子
清水 節子

城地 富士子
南部 眞澄
西脇 俊行
長谷川 佳子
藤岡 喜美子
松田 比富美
安川 たき子
脇本 郁子

【社会福祉事業功労者】
日種 聡志
【金品寄付感謝状】
石塚 昭夫
尾花 とみ江
印牧 康太郎
J A テラール越前女性部
野田 涼
幅口 紀子

地域福祉の担い手が研修会

福祉委員研修会開催

大野市社会福祉協議会は、地域福祉のより一層の推進を図ることを目的として10月26日(水)に結とぴあ3階で、福祉委員研修会を開催しました。

あわら市社会福祉協議会地域福祉課地域支援グループの仲村 唯史係長を講師に迎え、「地域福祉の実践」あわら市社協がすすめる福祉ネットワークについてと題して講演いただきました。

仲村氏は、事例をあげながら講演を行い、終盤は机を並べ替えグループワークも行い、参加した福祉委員は地域での活躍を誓いました。



講師の仲村氏によるグループワーク



富嶋区の交通安全看板づくり

大野市社会福祉協議会では、各行政区において、福祉委員を中心として、区長や民生児童委員など地域の関係者が連携、協働して、地域の生活・福祉課題をみんなで考え、解決に向けて取り組む活動を応援しようとして、『小地域支え合い支援事業』を



- 『モデル地区』
- 上篠座2区▼みんなでクリスマスリースづくり
- 陽明町2丁目区▼みんなできまきー巻き寿司づくり
- 中丁区▼防災訓練研修会
- 上黒谷区▼みんなでラジオ体操

平成30年度から、大野市全域を対象として希望地区において事業を実施する予定をしていますので、地域をよくする取り組みをお考えの福祉委員は、大野市社会福祉協議会までお問い合わせください。

実施しています。この事業は、平成28年度から2年間、市内数か所においてモデル地区を選定し、上限5万円を助成。



上黒谷区の防火初期消火訓練



和泉地区のより処になっています

- 操及び防火初期消火訓練
- 富嶋区▼世代間交流会及び交通安全看板づくり
- 後野区▼サロン「より処」



中丁区の防災訓練研修会

和泉デイサービスセンター「わくわく館」で、新年を迎えるにあたり、利用者が年賀状作りを行いました。この年賀状作りは、師走の恒例行事で、利用者は思い思いに年賀はがきに家族への思いや、来年の干支の酉の絵の絵などを書き込んでいました。色鉛筆や絵の具を使い、カラ

思い思いに 作ったよ!



みんなでワイワイ作りました

来年の干支は 何だっけ? えがおの教室ではり絵作り! 放課後等デイサービスセンター「えがおの教室」では、レクリエーションの一環として様々な行事を行っています。



心を込めて書き上げました

フルな年賀状が完成し、出来上がった年賀状は、年始めに、利用者のご家庭へ配達され、お正月の楽しみのひとつとなります。

えがおの教室では、現在26人が利用されており、6人の支援員が対応しています。開所日は、月曜日から金曜日まで(ただし、12月29日〜翌年1月3日は除く。)で、午前8時30分から午後5時30分まで運営しております。利用したい、また相談のつてほしいことなどがあれば、気軽にお問い合わせください。

この日は、年賀状の代わりに、大きな折り紙で作った来年の干支の飾りつけを模造紙に張り付けていきました。完成した作品は、えがおの教室玄関入口の壁面に展示。子どもたちは、完成した作品を楽しそうに見上げていました。

こんにちは！ 大野市ボランティア センターです！



ボランティアフォーアップ講座

大野市社会福祉協議会が運営する大野市ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方、ボランティアを依頼したい方のご相談を受け付けています。「ボランティアがしたい」「ボランティアをしてほしい」といった相談は多種多様です。個人から組織に至るまで、幅広く相談に応じています。専門機関との連携による、関係機関や団体の調整も行っています。

また、情報提供として、ホームページの活用や、社協だよりによる広報活動を行い、リアル



付箋を使ってボランティアについて学びました

タイムな情報発信に努めています。

ボランティアに興味のある方は大野市ボランティアセンターへお越しください。電話によるご相談も受け付けています。

○どこにあるの？
場所は大有有終会館2階の南側にあり、平日は午前9時から午後5時まで開所しています。午前中は、ボランティア、午後は職員が常駐しています。

事前予約で夜間や平日以外の利用(無料)も可能です。

○何があるの？

ボランティアがちょっとした打ち合わせや会議で使用できるスペースや、情報発信として各種チラシやポスター等も展示しています。

音訳ボランティアが利用する録音室を設置しています。

○ボランティアについて学びたい

ボランティアをしたい人に幅広い理解を進めるための研修会や講習会を開催しています。

ボランティア活動保険制度改正のお知らせ

平成29年度から、ボランティア活動保険の保険金額及び保険料、また、ボランティア行事保険を改正します。詳しくは、大野市社会福祉協議会までお問い合わせください。

主な
変更点

Aプラン保険料
300円→350円
Bプラン保険料
500円→510円

大野市ボランティア 活動ネットワークの取り組み



ボランティア交流会で非常食パック作成

大野市ボランティアセンターの運営、ボランティア間の連携や組織的なボランティア活動を推進するため、大野市ボランティア活動ネットワークを組織しています。

この組織は、大野市内で活躍するボランティア団体から選出された、11人の委員で構成されています。

ボランティア活動ネットワークの活動として、運営につ



牛乳パックに詰め込みました

て話し合う会議、ボランティア団体同士の交流会、先進地視察研修等を行っています。

本年度の交流会は大野市赤十字奉仕団による牛乳パックを使った非常食づくりを行い、缶詰やレトルト食品等13点もの食材などを牛乳パックに詰め込み、発災時の食について理解を深めました。

また、先進地視察研修では高山市ボランティアセンターを訪問し、ボランティア同士の交流と、意識の高揚を図りました。

あなたの地域を 紹介します



和泉地区



山崎先生による福祉講演会

和泉地区の人口は、12月16日現在で502人、65歳以上の方の高齢化率は44%と人口は減少し、高齢化率は高まっています。

和泉地区社会福祉協議会(稲郷栄一会長)は平成19年に設立され、区長会など7団体と学識経験者などで構成された団体です。和泉地区社協では地区住民子

どもから高齢者までもがずっと住み慣れたこの場所で安心して暮らせるようにといるいるな地域課題を挙げ、事業に取り組んでいます。

その中でも特に力を入れているのは、「お買い物サロン」です。和泉地区には食料品や日用品など生活するために必要な物を購入できる店がありません。

車に乗られる方、ご家族がいらっしゃる方は、必要な物の購入は容易ですが、運転免許のない方一人暮らしの方や二人暮らし高齢者の方々は買い物がとても困難です。そういった方々のためにバスを利用し、送迎付きで市内まで買い物に出掛ける事業を年10回実施。自分の目で商品を選び購入し、普段外出する機会が少ない方には外出することで気分転換や参加者と交流する場が持てると考えています。

また、他の事業では福祉委員会と合同で視察研修や勉強会、世代間交流会、福祉講演会、地区のまつりなどにも参加協力するなど事業を行っております。

出来ることを今、そして、これからお互いが思い合えるまちづくりをしていこうと頑張っております。

和泉地区福祉委員会(米倉治一会長)は、平成18年に設立され、和泉地区の行政区から各一人の福



世代間交流の様子

社委員10人で構成されています。民生児童委員や家庭相談員との連携を保ち、福祉委員は、地域の見守りの大きな担い手です。

和泉地区福祉委員会も和泉地区社協と共に地区のまつりや研修会、福祉講演会などにも参加して幅広く地域の皆さまに福祉委員会を知っていただけるように活動しています。

とりわけ一人暮らし宅防火安全見守り活動では、消防署にご協力いただき一軒一軒を訪問し、見守りの強化と防火に対する意識の強化に努めています。

誰でもが困ったときに、福祉委員の方々の顔がふと浮かんでくるように、そして困ったときに声に出せるように日々活動をしていきます。

無 料 相 談 業 務 の ご 案 内

法律相談

土地・住宅・財産など法律上の問題に弁護士が応じます。

(毎月第2・第4木曜日 午後1時～4時)

※法律相談は予約制をとっておりますので

事前に電話での申し込みをお願いします。

(会場) 大野有終会館「結とぴあ」内相談室

心配ごと相談

日常生活の中で悩みごとや心配ごとにご相談が応じます。

(毎週木曜日 午前9時～正午)

(会場) 大野有終会館「結とぴあ」内相談室

電話福祉相談

福祉やボランティアに関する相談に社協職員が応じます。

(電話) 65-8773

お問い合わせ先

大野市社会福祉協議会

天神町1-19

(電話) 65-8773

秘密は厳守

お気軽にご相談



あなたの暮らしの “あんしん”をお手伝いします

日常生活自立支援事業ってどんな事業なの??

毎日の暮らしのなかにはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。このような場合に、日常生活自立支援事業は、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、住みなれた地域で安心して生活が送れるようサポートします。

Q どんな人が利用できるの??

A 認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な方、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方、お金の管理に困っている方などが利用できます。
※施設や病院に入所、入院した場合でも利用できます

福祉サービスを使いたいが、
どうすればいいかわからない方

書類がくるけど、
どう手続きしたらいいかわからない方

最近物忘れが多くて
預金通帳をどこへ保管したかわからなくなる方

計画的にお金を使いたいけど、
いつも迷ってしまう方



Q どんなサービスがあるの??

A 福祉サービス利用の申し込み、契約手続き、日常のお金の出し入れ、預金通帳の預かりなどのお手伝いをします。

福祉サービスを安心して利用できるように
お手伝いします

毎日の暮らしに欠かせない、
お金の出し入れをお手伝いします

日常生活に必要な事務手続きの
お手伝いをします

大切な通帳や証書などを
安全な場所でお預かりします



Q サービスの利用に費用はかかるの??

A 相談は無料、サービスは有料です。
相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。福祉サービス利用手続き、金銭管理などのサービスを利用する際は料金がかかります。

Q どうすればサービスが利用できるの??

A まずは下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

大野市社会福祉協議会 大野市高齢者・障害者日常生活自立支援センター
大野市天神町1-19 大野有終会館「結とびあ内」 ☎ (0779) 65-8773

賛助会費のご協力
ありがとうございます。

平成28年度賛助会費納入事業所で追加がありましたので、ここにご芳名を掲載させていただきます。ご協力ありがとうございます。

【富田地区】(株)友安

【市外】(株)パケット・デズ、(株)ケア・システム
(株)ハシノメディカル、福井日産自動車(株)

